シダ (ウラジロシダ、コシダ)

ウラジロ科









池坊

12 /4			
この流派でよく使う種類	ウラジロシダ		
使用量	(多い) お稽古だけなく、花展での使用も多い		
使用時期(お稽古)	通年		
本数	作品につき、1~3本程度で使用することが多い		
葉、枝	80~100cmを使用する		

この流派でよく使う種類	ヤマシダ (いけばなではコシダをヤマシダと呼ぶ)、カニシダ		
使用量	(少ない)		
葉、枝	お稽古で一人あたり、3本で使用することが多い		

小原流

* * * * * * * * * * * * * * * * * * *				
この流派でよく使う種類	ウラジロシダ			
使用量	(少ない) 1/4のクラス 年1~2回			
使用時期(お稽古)	12~2月			
使用時期(試験)	1 2~2月			
本数	3~5本			
葉、枝	60~70cm			
特徴	写景、自然、瓶花、琳派調など上級クラスの課題として使われる。			

この流派でよく使う種類	コシダ				
使用量	(多い) 上級者は必ず年に数回使う				
使用時期(お稽古)	通年				
使用時期(試験)	通年				
本数	お稽古では一人あたり、7~15枚使うことが多い				
葉、枝	葉のしまった小ぶりのものが望ましい				
特徴	小原流の写真盛花の下草として欠かすことのできない花材。葉がしまった小ぶりのものが望ましい。				

-ウラジロ科

龍生流 *龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

この流派でよく使う種類	ウラジロシダ
使用量	(少ない) 自:1/5クラス年1回
使用時期(お稽古)	11~1月
使用時期(試験)	11~1月
本数	任意
特徴	自:テーマによる研究会(試験)に使われる。

シダ(ウラジロシダ、コシダ)

この流派でよく使う種類	ヤマシダ(いけばなではコシダをヤマシダと呼ぶ)		
使用量	(少ない) 1/5のクラス年1回		
本数	3~4本		
特徴	自:漂白したものはよく用いる。		

生産者情報

産地名	地域	連絡先/担当	備考
鈴木恒雄	茨城県かすみがうら市		コシダ
浅野昭夫	茨城県水戸市	03-3799-5526 (市場) FAJ 切花部	ウラジロシダ/8~5月